

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年07月22日

計画の名称	安全かつ安心して住みよい居住空間を創出するまちづくり												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	筑紫野市												
計画の目標	災害に強く誰もが住みやすい都市基盤の整備 ・誰もが住みよいまちにするための環境整備 ・災害に強いまちにするための環境整備												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,026	A	842	B	162	C	22	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	2.14	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27	R1	R3
1	東町区(行政区)の人口【949人(H27) 1,017人(R2)】 東町区(行政区)の人口を調査する。 949人(H27実数) 949人(H27実数)+2.7人(1世帯の平均人数)×25世帯(R2年度までの新規住宅着工件数見込み)=1,017人	949人	人	1017人
2	まちづくりアンケート「防災・減災対策の推進」において、「満足」、「どちらかといえば満足」、「普通」と答えた人の割合【82.25%(H27) 86.50%(R2)】 ちくしのまちづくりアンケートにおいて、「防災・減災対策の推進」に対する満足度を調査する。 82.25%(H27市全域満足度実数) 86.50%(R2市全域満足度実数)	82%	%	86%
3	本市が実施している市民アンケート調査による「交通環境の総合的な整備と充実」に関する満足度を増加 本市が実施している市民アンケート調査による「交通環境の総合的な整備と充実」に関する満足度評価指数 71.7%(H27市全域満足度実数) 78.7%(R3市内全域満足度実数)	71%	76%	78%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	筑紫野市	直接	筑紫野市	-	-	二日市地区(第二期)都市再生整備計画事業	道路、地域生活基盤等 98ha	筑紫野市						278		-	
												小計						278		
												合計							278	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
筑紫野市都市再生整備計画評価委員会、福岡広域都市計画事業筑紫駅西口土地区画整理審議会	令和3年1月26日、令和4年7月4日
	公表の方法 筑紫野市公式ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指標1「東町の人口」、指標2「市が行う防災・減災対策に関する満足度」および指標3「市が行う交通環境に関する満足度」ともに目標値を達成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	土地区画整理事業において宅地造成を行ったことにより、筑紫区と若江区の人口が増加した。（H29：5,096人 R3：6,831人）
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・二日市地区が、鉄道駅やバス停などの公共交通機関からのアクセスが良好であることを幅広くPRするとともに、平成31年1月から本地区内を運行している市コミュニティバス「つくし号」の利用促進に繋がる取り組みを進めるなど、交通利便性の向上について推進していきます。また、市外からの移住を促すための取り組みとして、未利用地における開発誘導や子育て世代が暮らしやすいと感じる子育て支援・学校教育の充実などに努めていきます。 ・二日市地区の防災・減災対策については、筑紫野市地域防災計画に基づいた取り組みを進めるほか、避難所として指定している公共施設等の老朽化対策については、筑紫野市公共建築物長寿命化計画を踏まえた計画的な整備に努めていきます。また、治水対策については、高尾川・鷺田川地下河川築造工事完了後の本地区内での影響を注視するとともに、避難所の運営についても、新型コロナウイルス感染症対策を意識した設営等に努めていきます。 ・筑紫駅西口土地区画整理事業において整備した道路・公園の維持補修を行っていくとともに、土地区画整理事業の換地処分に向けて事業進捗に努めていきます。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	東町（行政区）の人口	
	最終目標値	1017人
	最終実績値	1043人
2	市が行う防災・減災対策に関する満足度	
	最終目標値	86%
	最終実績値	87%
3	市が行う交通環境に関する満足度	
	最終目標値	78%
	最終実績値	85%

基幹事業である道路整備事業により、地区内の交通利便性が高まり、低未利用地の活用が図られたものとする

基幹事業である指定避難所の耐震化工事や、関連事業の床上浸水対策等緊急事業等が評価されたものとする

基幹事業である土地区画整理事業および関連社会資本整備事業・効果促進事業である筑紫地区まちづくり整備事業により、道路・宅地・公園の整備を進めた結果、事業区域内のみならず、周辺地域とのアクセス機能が向上したことによるものとする